

【学力向上フロンティアスクール中間報告書】

都道府県名	香川県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	飯山町立飯山中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	5	5	4	2	16	34
生徒数	161	166	155	3	485	

研究の概要

1. 研究主題

<p>自分の夢をもち、その実現に向け、自らを磨き、互いに高め合う生徒の育成                  学力を磨く、心を磨く、体力・気力を磨く、社会性を磨く</p>
---

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

<p>・全教科・全学年                  学校全体で、確かな学力の向上に向けての研究に取り組むため。                  ・特に、数学・英語・2～3年                  少人数授業を実施しており、そのための研究に取り組むため。</p>
--

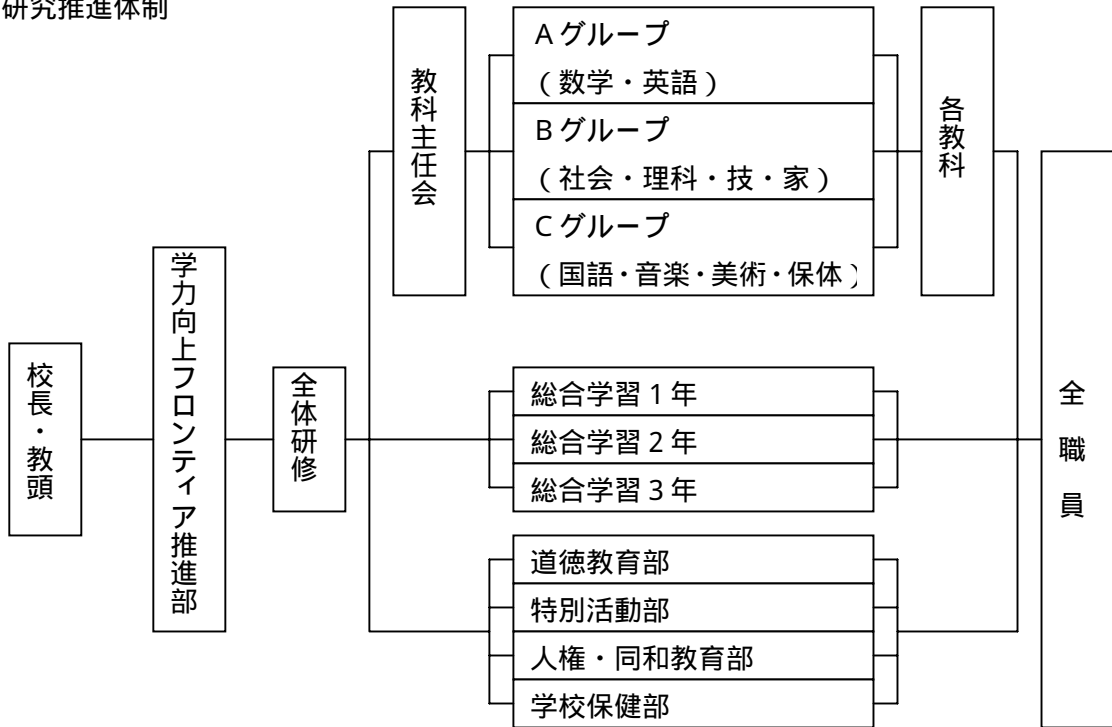
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ                  自分の夢をもち、その実現に向け、自らを磨き、互いに高め合う生徒の育成                  学力を磨く、心を磨く、体力・気力を磨く、社会性を磨く</p> <p>仮説                  セルフエスティーム（自尊感情）が高まれば、生徒は自分の夢をもち、その実現をめざす主体的生き方をする。夢を実現させる力は、全教育活動の中で、学力、心、体力・気力、社会性を自ら磨き、生徒が互いに磨き合うことで育つ。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 研究主題の分析と確かな学力のとらえ方の検討</li> <li>2 研究計画の作成</li> <li>3 確かな学力の向上を図る年間指導計画の作成</li> <li>4 確かな学力の評価のあり方（評価基準・評価計画の作成と実施）</li> <li>5 授業研究による、効果的な指導方法の工夫・実践，題材の開発                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な少人数指導・習熟度指導のあり方</li> <li>・自ら課題意識をもてるような題材の工夫，導入段階の工夫</li> <li>・生徒相互交流やグループ学習を生かし，高め合う学習方法の工夫</li> </ul> </li> </ol>
--------	--

平成15年度	<p>テーマ 自分の夢をもち，その実現に向け，自らを磨き，互いに高め合う生徒の育成 学力を磨く，心を磨く，体力・気力を磨く，社会性を磨く</p> <p>仮説 学校生活の中に，有効な磨き学習の場を多く設定し，その中で一人一人の生徒が満足感を得られるような指導・支援を工夫することにより，豊かな心を土台とした確かな学力を育てることができる。そして，それは，自分の夢をもち，その実現に向け，自らを磨き，互いに高め合う生徒の育成につながる。</p> <p>〔昨年度と内容に大差はないが，教員が何をすることをわかりやすくしたいと考え，表現を少し変えた。〕</p> <p>研究の内容・方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 確かな学力の向上のための取組       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「磨き」学習の定義づけと「磨き」学習を授業に取り込んだ授業改善 (教科の授業研究による教材開発と指導方法や評価の工夫・改善)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・必修教科の充実(国・社・数・理・英の郡総研における授業公開)</li> <li>・選択教科の工夫(音・美・技家・体の郡総研における授業公開)</li> </ul> </li> <li>(2) 「確かな学力」の重点化と3グループに分かれての研究</li> <li>(3) 総合的な学習の時間(桃源タイム)の工夫・改善</li> <li>(4) その他の教育活動との関連(朝の読書・課外学習・家庭学習等)</li> </ol> </li> <li>2 豊かな心の育成のための取組</li> </ol> <p>〔昨年度の予定では，評価の工夫を重視していたが，教材の開発や指導方法の工夫・改善をさらに続ける必要があると考え，昨年度と同様に，授業研究を中心とした研究に取り組んだ。〕</p>
--------	---

平成16年度	<p>テーマ 自分の夢をもち，その実現に向け，自らを磨き，互いに高め合う生徒の育成 学力を磨く，心を磨く，体力・気力を磨く，社会性を磨く</p> <p>仮説 各教科・領域間を有機的に関連づけた教育課程を編成することにより，「磨き」学習を効果的に設定し，授業実践と評価，さらに振り返り学習をくりかえすことにより，一人一人の生徒に「確かな学力」を身につけさせることができる。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2学期制の導入とそれに対応した教育課程の工夫・改善</li> <li>2 一人一人の生徒の学習到達度の評価と振り返り学習のあり方の研究と実践</li> <li>3 効果的な少人数，習熟度別授業のあり方の継続研究とその成果の検証</li> <li>4 総合的な学習の時間の工夫・改善       <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習リテラシーを身につける「ランゲージ」「サイエンス」の時間の導入</li> <li>・教育課程における弾力的運用の研究</li> </ul> </li> <li>5 3年間の研究の評価とまとめ</li> </ol>
--------	--

(3) 研究推進体制



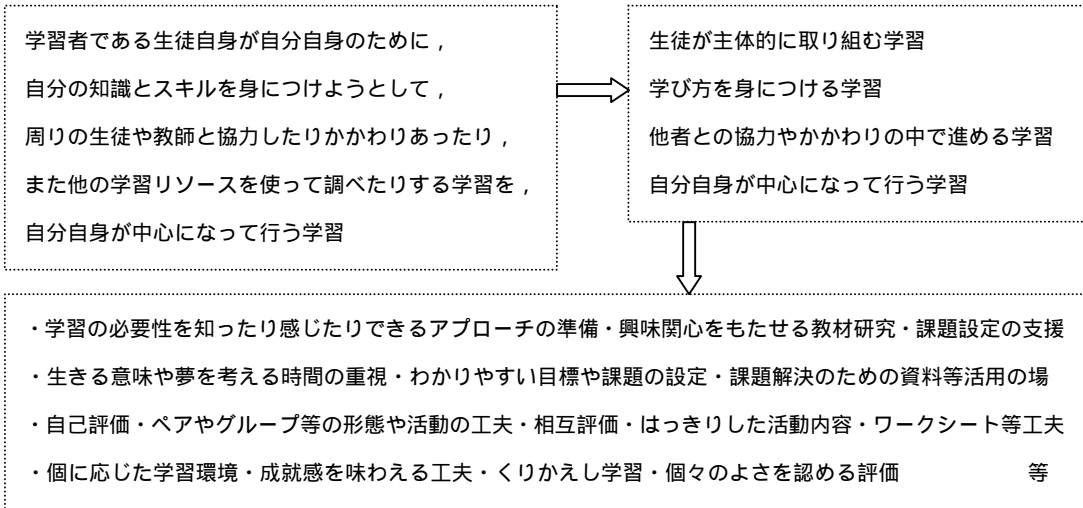
平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

下記の(1)～(3)に示すように、教員自身の研修が進むとともに、アンケートや生徒の感想から、少人数授業の定着や学習に対する意識、また自分自身を大切にし人も尊重する心の成長に成果が見られる。

(1) 授業研究による教員の確かな学力のための意識の向上

昨年度定義した飯山「磨き」学習のための留意点を授業の中に位置付け



指導者を招いた授業研究や、小学校の教員とのTTの授業の実施

(2) 確かな学力の3視点に関する取組

A 基礎・基本の習熟を図る少人数学習を求めて

- ・本校で実施したアンケートより

保護者に関して

感想

- ・子どもより少人数授業になって理解しやすくなったと聞いておりますし、成績も少しずつ向上しているように思われます。
- ・少人数のほうが質問もしやすいと思いますし、先生方も一人一人により目を配っていただけるので、苦手なところなども指導していただきやすいのではと思っています。

少人数授業について



■よい □どちらでも □よくない

生徒に関して

- ・少人数グループに分けることに抵抗はない 80%
- ・少人数グループのほうが理解しやすい 69%
- ・少人数グループのほうが学習意欲が出る 62%
- ・少人数グループでの学習に慣れてきた 87%

習熟度別授業を希望する割合

2年より3年のほうが多い。

- ・学力向上フロンティア事業に関わる調査より

少人数授業について、よくあてはまる・どちらかといえばあてはまる割合

	全体	本校2年	本校3年
勉強の内容及よくわかる	82%	88%	84%
進んで手を挙げて答えている	40%	63%	45%
わからないことなど先生に聞きやすい	57%	59%	63%

B 自ら学び自ら考える力の育成をめざした課題解決学習の工夫

- ・社会科の授業後の「調べたいことや疑問に思ったこと」より

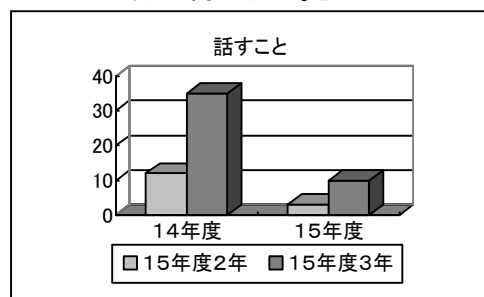
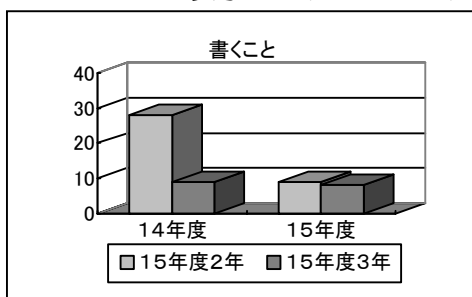
題材「律令国家成立の頃の飯山町はどんなようすだったのだろう」

- ・農民の家はどんな感じだったのだろう。
- ・なぜ、田んぼから瓦のようなものがたくさん出土するのか。

C 豊かな感性や表現力の育成をめざした生徒相互交流やグループ活動の活用

- ・国語科のアンケートより

「よりいっそう身につけていかなければならない力は何ですか。」



### (3) 豊かな心の育成に関する取組

#### 行事を核としてセルフエスティームを高める取組

##### ・体育祭の感想より

みんなの息がそろわないと決して成功しない難しい大縄跳びに、私たちは必死に取り組みました。声をそろえ、息を弾ませて、毎日練習に励みました。一番地味で、そして一番苦しい思いをしている回し手の二人の思いを無駄にしないこと。それが、私たちのモットーでした。当日、見事に新記録を達成！みんなの心がひとつになるすばらしさを知った瞬間。今まで支えてくれた先生方、そしてクラスの仲間たちに心から感謝しています。

##### ・音楽発表会の感想より

今年の音楽発表会は、一生心に残ると思います。なぜなら、本当に真剣に仲間と力を合わせ心をつにして曲を作り上げるという大切な過程を経てきたからです。時には涙を流したり、悩んだり、自分が悪いということ認められなかったりしたけれど、そういうことをみんなできてきたからこそ本番で成功できたのだと思います。賞を取れたこともうれしいのですが、それ以上にこのメンバーでこの歌を歌えたことが何よりうれしいのです。

#### 人権旬間の取組

##### ・生徒の感想より

乙武さんの学習から、五体不満足だけれど、その不満足を自分の特長と考えることで、一人の人として明るく過ごしていることがわかりました。ぼくも、乙武さんのように、自分の特長を生かして、目標をもって生きていきたいです。

ハンセン病元患者が抗議をしているのを、テレビで見たことがありました。病気で少し人と違っているところがあるかもしれないけれど、人間として何も変わることはないんだとわかりました。正しい判断をし、正しいことをみんなに伝えていきたいです。ハンセン病元患者も楽しく宿泊できるような社会を作っていきたいです。

## 2. 今後の課題

本年度は、生徒の情意面に成果が見られたものの、基礎学力の定着面に課題が残されている。そこで、今後は次の点に重点的に取り組んでいきたい。

来年度2学期制が導入されるので、それに対応した教育課程を工夫・改善する。

授業中および定期的実施する到達度評価を生かして、振り返り学習を充実させる。

少人数授業、習熟度別授業の効果的なあり方の研究を継続する。

基礎学力の定着と関連した総合的な学習の時間のあり方を工夫・改善する。

## 学力把握のための学校としての取組

- ・県学習状況調査の結果分析
- ・県「学習の診断」の結果分析
- ・到達度テストや定期テストの結果分析
- ・少人数授業に関するアンケートの実施

## フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 1 中讃地区別協議会発表会で発表  
(1) 研究内容・研究方法のあり方等情報交換 (H15.7.11.)  
(2) 実践発表 (H16.2.27.)
- 2 綾歌郡総合研究大会で発表・授業公開 (H15.10.31.)

---

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校
【学校規模】	3学級以下 7～9学級 13～15学級	4～6学級 10～12学級 16学級以上
【指導体制】	少人数指導 その他	T.Tによる指導
【研究教科】	国語 社会 外国語 音楽 保健体育 その他	数学 理科 美術 技術・家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有 無